

認 定 書

国住指第 2142 号
令和元年 11 月 25 日

シーシーアイ株式会社
代表取締役社長 岡部 鉄也 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1086
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床準耐火
構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／熱膨張材・合成ゴム系発泡体／床準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 ($\phi 153\text{mm}$ 以下)
	面積	0.0184m^2 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		85.8%以下
被覆材付配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)		5～13.5mm
貫通する床の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する床構造 (60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく床構造(60分) 厚さ189.5mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
被覆材		材料	無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材
		使用箇所	直管及び管継手の外層被覆材
		処理方法	床上及び床下から300mm以上被覆
	表面材	材料	種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂 (ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂
		厚さ	70 (±30) μm
	樹脂シート	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂 (表面材は①又は②) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂 (表面材は①又は②)
		組成 (質量%)	非公開
		厚さ	非公開
		密度	
	基材	材料	ウレタンフォーム
		厚さ	非公開
		密度	
貫通部材	保護テープ	材料	非公開
		厚さ	
		寸法	
	保持部材	材料	鋼板
		厚さ	非公開
		寸法	
	熱膨張材	材料	非公開
		質量	
		組成 (質量%)	
		材料	
		厚さ	
		寸法	
		材料	
		厚さ	
		寸法	
	支持部材	材料	鋼板
		厚さ	非公開
		寸法	
		数量	

つづく

つづき

目 地 材	上部	材料	非公開
		寸法	
	下部	材料	
		寸法	
		組成 (質量%)	

表3 配管の仕様

項 目		仕 様	
配管	直管	材料	硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) (記号：VU、VP)
		外径	φ114mm以下 (記号：VU、VP)
		厚さ	3.5mm以下 (記号：VU) 7.1mm以下 (記号：VP)
	管継手	材料	種類：①又は② ①屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 (塩化ビニル管・継手協会、AS 38、記号：VUDV) ②排水用硬質塩化ビニル管継手 (JIS K 6739、記号：DV)
		受口外径	φ124mm以下
		厚さ	4.6mm以下 (記号：VUDV) 4.3mm以下 (記号：DV)

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
ジョイントテープ	材料	オレフィン樹脂フィルム張ゴム系粘着材	
	組成 (質量%)	非公開	
	厚さ		
	寸法		

5. 構造説明図：
構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm

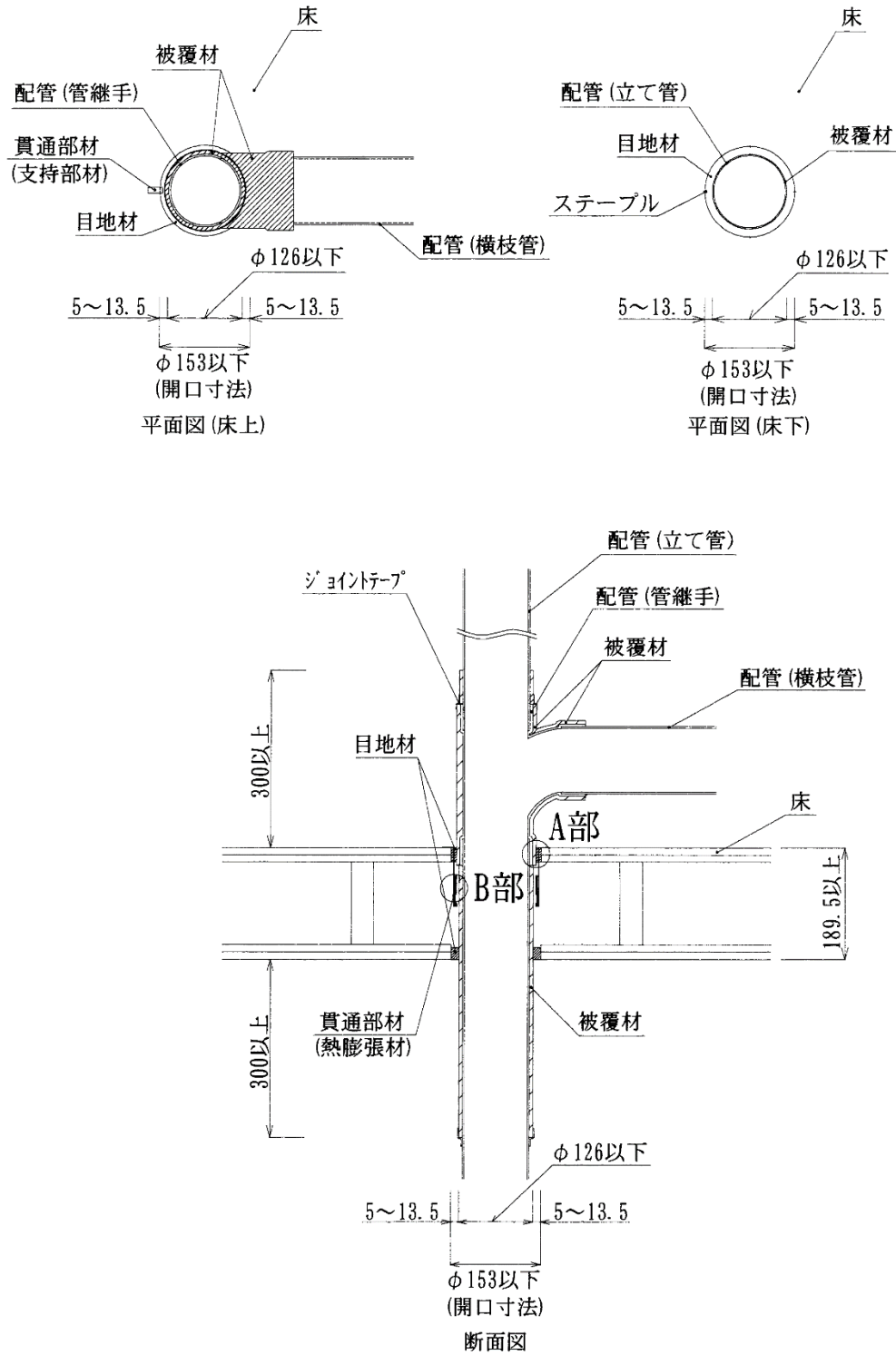


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm

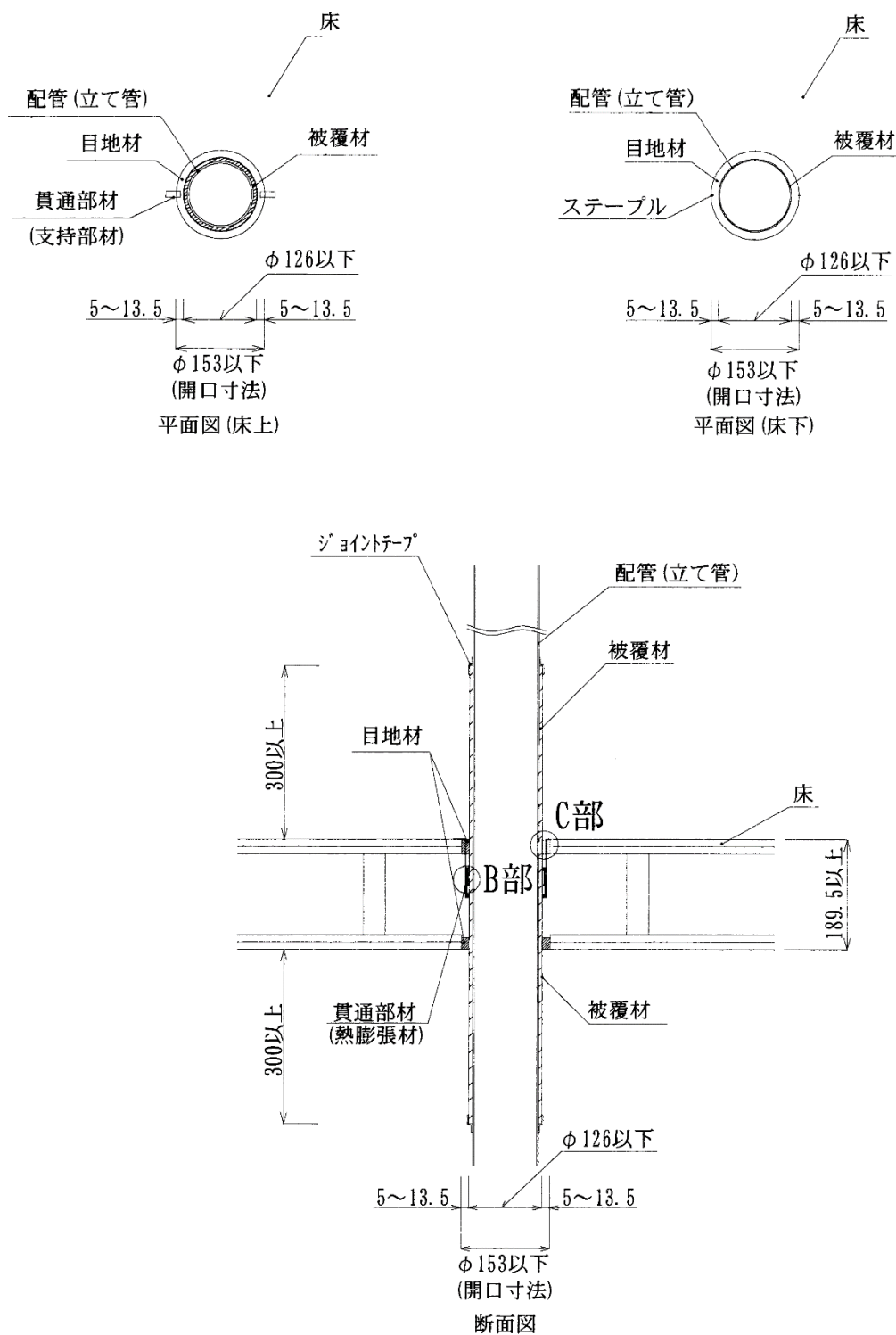
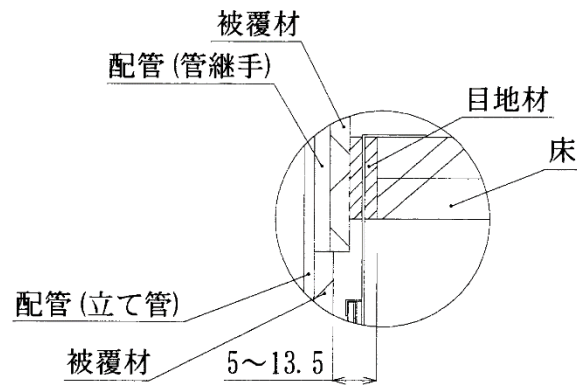
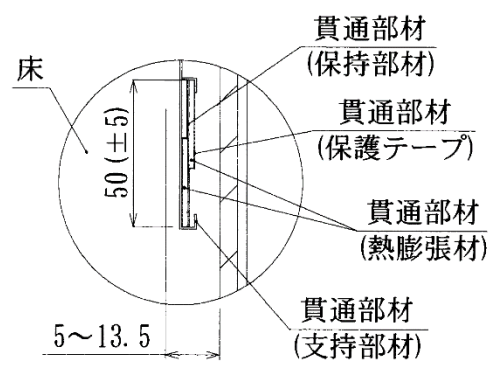


図2 構造説明図 (施工図)

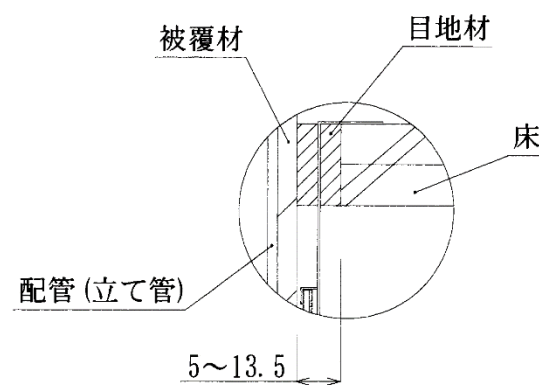
単位 mm



A部詳細



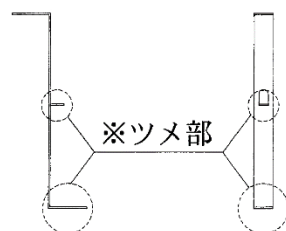
B部詳細



C部詳細

図3 構造説明図

単位 mm



※ツメ部を折り曲げてB部詳細図(図3)に示すように他の部分
(熱膨張材・保護テープ・保持部材)を開口部内に固定する

支持部材



保持部材

貫通部材を構成する部品の詳細図：支持部材及び保持部材

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 直管に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。
その際、防音排水管の被覆材長さは、床の上下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②非加熱側の被覆材の端部はジョイントテープで 1 周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付配管に巻き付け、床内部に挿入する。
- ④開口部と被覆材付配管の隙間に目地材を入れる。

(2) 管継手に施工する方法

- ①被覆材付配管 (床下) の設置を行い、支持・固定する。
その際、被覆材付配管 (床下) の被覆材長さは、床の下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②貫通部材を被覆材付配管 (床下) に巻き付け、床内部に挿入する。
- ③被覆材付管継手を、床内部に挿入する。
その際、被覆材付配管 (床上) の被覆材長さは、床の上面から 300mm 以上であることを確認する。
- ④開口部と被覆材付管継手の隙間に目地材を入れる。